令和８年度第２回石巻市地域公共交通活性化協議会
会議録

◆日時：令和８年１０月２３日（金）　午後３時３０分から午後４時３０分まで
◆場所：石巻市防災センター　２階　多目的ホール

１．開会
委員数３０名のうち、２２名出席のため会議成立

２．会長あいさつ
須賀川で東北発コンパクトシティ推進研究会という勉強会があり、様々な自治体から出席されておりました。その際に１番のテーマになったのは、まちづくりと交通の連携です。公共交通だけではなく、まちづくりとどう連携させていくのかとこの二つが、まさに車の両輪のように重要だと話しておられました。石巻市の職員も出席されていたため、自治体ごとの様々な取組を勉強された知見も、今回策定される計画に反映されるのではないかと期待しております。

３．議事
(1)　石巻市総合交通計画骨子案について（説明：企画部地域振興課）

（質疑）

委員　　資料１の１ページ目、計画の対象欄にグリーンスローモビリティという言葉があるが、これは具体的にはどういったものか。

事務局　　グリーンスローモビリティとは、時速 20 キロ未満で公道を走ることができる電気自動車を活用した移動サービスを指しております。SDGs に基づき、市内で蛇田地区に導入しておりましたが、運行状況が芳しくないため、現在は運行を停止している状態です。前回の計画中では取り組むこととしておりましたのでこちらの資料に掲載しております。

委員　　次期計画の計画期間は、どのくらいを想定していますか

事務局　　前回と同様に５年間を想定している

委員　　石巻市の場合、総合交通計画という名称で計画を策定している。本日の骨子案では、公共交通を主として説明されており、自家用車・自転車・歩行者についての視点が不足している。最終的にはそれらの視点も含めた形で、計画を策定するということでよろしいか。

事務局　　御指摘のあったとおり、総合交通計画は地域公共交通計画とは違い、自家用車や自転車、徒歩等の移動方法も含めた形での策定を検討しております。自宅から公共交通へアクセスする交通手段と公共交通との連携といった施策や駐輪場の整備等を含めた待合環境の整備といった施策等で徒歩、自転車、自家用車、公共交通それぞれが、適した形で運行できるように関係部署等との協議を行いながら、計画を策定していきたいと考えております。

委員　　４ページの課題４に「公共交通サービスを維持するための持続性ある供給体制の確保」という記載があるが、タクシー会社は昨年２社が廃業しており、業界は厳しい状況にある。旧市内のタクシー会社にアンケートをとると午前中のお客さんが少なくなってきているという実態がある。市で実施しているコミュニティカーシェアリング施策の影響で、タクシー業界の収入が減っていると考えている。タクシー業界のことも考慮して骨子案をまとめてもらえないか。

事務局　　委員から指摘された部分は、コミュニティで実施されている移動手段になっております。タクシー協会に影響が出ている可能性もあるかとは思いますが、地域では活用できるものを活用して、移動手段を確保することが必要となります。カーシェアリングは今回の計画内ではあくまで輸送資源の一つとしての位置づけとなっており、計画内で推進していく形とはなっておりません。タクシーとの分担については事業者側の意見も伺いながら、引き続き協議させていただければと考えております。

委員　　カーシェアリングではなく、運転士不足や高齢化等も大きな問題。計画期間中の５年間に何社も廃業する可能性があるくらい、現在は厳しい状況。市が交通計画を作成し、石巻市の地域交通を守るという気持ちでやっていただきたい。本当にタクシーがなくなったら、１番困るのは市民の皆さん。石巻市の守る対象の中に、バスだけでなく、タクシーも入れていただき、地域の公共交通を継続することが総合交通計画の中で１番重要なのではないかと思う。

委員　　また、福祉総務課で実施しているコミュニティカーシェアリングとタクシーの間で利用者の分散が起こっており、タクシー会社側の事業経営が難しい状況となっている。カーシェア側とタクシー側の両者がうまくいくような調整はできないのか。

会長　　どのように交通モード各役割分担しながら確保していくのかではなく、交通モード同士の調整が必要ではないかという御意見であるため、その点について事務局より回答をお願いします。

事務局　　タクシーとカーシェアの役割分担について、タクシーはプロのドライバーが運転していることへの、安全性というのが担保されており、長距離の運行が可能です。一方でコミュニティカーシェア側では、ラストワンマイルのような近距離への移動対応になると想定しております。

タクシーは１番時間的な制約が少なく、融通が効く交通手段であります。利用者の目的地や時間帯などの多様な移動ニーズに柔軟に対応できる交通手段であり、高齢者や障害のある方をはじめ、自家用車での移動が難しい方の日常生活を支える重要な公共交通の一つである考えており、路線バスや住民バス等による移動を補完するとともに、公共交通が利用しにくい地域や時間帯における移動手段としての役割を担っていただければと考えております。

会長　　今の段階では、交通モード同士が供給過多になっているところの調整をどうしていくのかという問題点があり、調整を必要に応じてやっていきますという回答となりました。

委員　　タクシーがたくさんある地域でカーシェアリングをやる必要はないと考えている。市内においては、電話をもらえればタクシーが動かせる状態になっているのに依頼がない状況。これでは事業が立ちいかなくなってくるため、カーシェアリングをタクシー会社も地域と同じ金額で実施し、市でカーシェアリングへ出している助成をタクシー会社へ出すことはできないかと市へ打診しているが、話し合いに発展していかないということで、今回提案させていただいた。

事務局　　カーシェアリングは福祉総務課で所管しておりますので、庁内のワーキンググループ内で議題として提案、調整をさせていただきたい。

委員　　第２次石巻市総合交通計画骨子案Ｐ５の基本的な方針に、「高校生・大学生等の学生や高齢者、障害のある方などの日常移動を支える、公共交通ネットワークの実現を目指します。」と記載されているが、中学生の子供がいる身として、中学生でも冬季や雨天での送迎はあり、学校によっては教職員会議で下校時刻が変更になる場合があり、その際に利用しやすい公共交通があると非常に助かる。

事務局　　表現が「高校生・大学生等の学生」ということになっておりますが、中学生も公共交通を使って移動する機会もあると考えております。雨天時や緊急時の下校等も含め、利用しやすい公共交通のあり方を教育委員会と協議をしていきたいと考えております。

４．その他

特になし

５．閉会

石巻市地域公共交通活性化協議会　委員名簿（敬称略）

番号	分類	氏　　名	団体名	備考
1	民	遠藤（えんどう）　国男（くにお）	石巻市町内会連合会	
2	民	小関（こせき）　薫（かおる）	河北地区行政委員会	
3	民	髙橋（たかはし）　守次（もりじ）	雄勝地区住民バス運行協議会	
4	民	女川（おなかわ）　清一（せいいち）	河南地区乗合タクシー運行協議会	
5	民	細川（ほそかわ）　広（ひろし）	桃生地区行政委員会	欠席
6	民	佐藤（さとう）　壽彦（としひこ）	北上地区住民バス等運行協議会	欠席
7	民	石森（いしもり）　清孝（きよたか）	牡鹿地区行政区長会	欠席
8	民	伊藤（いとう）　大悟（だいご）	石巻市ＰＴＡ協議会	欠席
9	民	箕田（みた）　朗子（あきこ）	障がい者ベース石巻にょっきり団	
10	民	髙橋（たかはし）　智恵（ちえ）	特定非営利活動法人やっぺす	
11	民	三谷（みたに）　れい子（こ）	石巻市老人クラブ連合会	欠席
12	民	清水（しみず）　真理子（まりこ）	石巻を考える女性の会	欠席
13	民	今野（こんの）　啓夫（ひろお）	社会福祉法人石巻市社会福祉協議会	欠席
14	公	小山（おやま）　和恵（かずえ）	東北運輸局宮城運輸支局　輸送・監査部門	
15	公	西脇（にしわき）　静夫（しずお）	東北地方整備局仙台河川国道事務所	
16	公	阿部（あべ）　博敬（ひろたか）	宮城県企画部地域交通政策課	
17	公	長谷川（はせがわ）　征二（せいじ）	宮城県東部地方振興事務所	
18	公	保土原（ほどはら）　真（まこと）	宮城県東部土木事務所	
19	公	笹本（ささもと）　忠嗣（ただつぐ）	宮城県石巻港湾事務所	
20	公	泉（いずみ）　知空（ちから）	宮城県石巻警察署	
21	公	門間（もんま）　徹也（てつや）	宮城県河北警察署	
22	民	及川（おいかわ）　佳洋（よしひろ）	株式会社ミヤコーバス	
23	民	池田（いけだ）　憲彦（のりひこ）	一般社団法人宮城県タクシー協会石巻支部	
24	民	安倍（あんばい）　洋平（ようへい）	網地島ライン株式会社	
25	民	三笠（みかさ）　亜希子（あきこ）	東日本旅客鉄道株式会社小牛田統括センター	
26	民	川村（かわむら）　英章（ひであき）	宮城県交通運輸産業労働組合協議会	欠席
27	民	姥浦（うばうら）　道生（みちお）	東北大学災害科学国際研究所	
28	民	工藤（くどう）　周平（しゅうへい）	石巻専修大学経営学部	
29	内	今野（こんの）　正太郎（しょうたろう）	石巻市建設部	
30	内	明日（みょうが）　正紀（まさのり）	石巻市企画部	